

令和6年度 山形大学附属小学校 資質・能力系統表

令和6年4月3日 現在

附属学校園 将来構想テーマ	広い視野と高い志を持ち、「共生社会」を創造的に生き抜く子どもの育成		
学校教育目標	「太陽の子」本質を見極める 「北国の子」強い意志をもつ 「日本の子」高い価値を目指す		
研究主題	自ら問題解決を進める子ども		
資質・能力の 3つの柱	生きて働く 「知識・技能」	未知の状況にも対応できる 「思考力・判断力・表現力等」	学びを人生や社会に生かそうとする 「学びに向かう力・人間性」
育成を目指す 資質・能力の観点	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学びを自分なりの方法でまとめる力 これまでの学びと新しい学びをつなげ、とらえを更新する力 	<ul style="list-style-type: none"> 問題場面から、課題を設定する力 見通しをもって問題解決の歩みをデザインする力 さまざまな情報から、目的や状況に応じた情報を選択する力 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く問題解決に取り組む力 お互いの持ち味を認め、ともに問題解決を図ろうとする力 学びを振り返り、自分に適した学びを調整する力
高学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめ、伝える際、客観的な事実や資料、言葉・絵・図・グラフ・表などのツールのよさが分かり、使い分けができる。 学習の中で得た知識・技能と既習の知識・技能を関連付けて、各教科で扱う概念を、他の学習・生活でも活用することができる。 (例) 各教科で扱う概念 社会…分業、 理科…条件制御などを必要に応じて使いこなすということ。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題場面に合った考え方をし、課題をはっきりさせることができる。 情報を客観的に捉え、信憑性の高い情報を集めることができる。 問題を解決する方法を複数考え、見通しをもって自分がすべきことを決めることができる。 目的や状況、相手に応じて表現方法や内容を選ぶことができる。 主張や根拠、理由を明らかにして、自分の考えを述べるができる。 <p><主に高学年で使っていきたい考え方> 具体化する（個別化する、分解する）、 抽象化する（一般化する、統合する）、構造化する等 多面的・多角的に見る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの人・もの・ことと関わることをたのしみ、それらのためになることをしようとする。 困難な課題にも、粘り強く取り組もうとする。 成功からも失敗からも学び、次に生かそうとする。 自分と友達の個性を理解し、自分にできること、友達に任せるところを分けて考え、協力して活動を進めることができる。 自分の学びの状況を把握し、自分にあった学習内容・方法を考えようとする。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめ伝える際、客観的な事実や資料、言葉・絵・図・グラフ・表などのツールがあることを知り、使うことができる。 文献、ICT 機器等を活用して情報を集めることができる。 学習の中で得た知識・技能を、他の学習・生活でも活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜだろう？」という気付きから、課題をはっきりさせることができる。 問題を解決するために自分がすべきことを決めることができる。 目的や状況、相手に応じて表現方法や内容を選ぶことができる。 主張や根拠、理由を明らかにして、自分の考えを述べるができる。 <p><主に中学年で使っていきたい考え方> 比較する、分類する、順序付ける、関連付ける、理由づける（原因や根拠を考える）、見通す（結果を予想する）等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの人・もの・ことと関わることをたのしみ、それらを大切にしようとする。 課題に粘り強く取り組もうとする。 成功からも失敗からも学び、次に生かそうとする。 自分の役割を果たし、友達と協力して活動を進めることができる。 自分の学びを振り返り、自分の変容を自覚することができる。
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめ、伝える際、自分にとってわかりやすい表現や方法を知る。 自分の生活や遊びの中で得た知識・技能を学習につなげて、新しい知識・技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がおもしろいと思うことを見つけて「やってみたい！」という思いや願いをもつことができる。 試す、予想する、工夫するなどして、自分の思いや願いを表現することでさらに思いや願いを膨らませることができる。 比べる、予想するなどして、「なぜだろう？」と考えることができる。 <p><主に低学年で使っていきたい考え方> 試す、予想する、工夫する、比べる、仲間分けする、つなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分から身の回りの人・もの・ことに関わることをたのしもうとする。 友達の気付きや考えに耳を傾けて活動するよさを感じることができる。 自分が頑張れたこと、次に頑張りたいことを振り返り次に生かそうとすることができる。